

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「話すこと・聞くこと」

◇全国平均を上回っている。

「書くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「読むこと」

◇全国平均を上回っている。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

◇全国平均を上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「話すこと・聞くこと」

◇全国平均を上回っている。

「書くこと」

◇全国平均を上回っている。

「読むこと」

◇全国平均を上回っている。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

◇全国平均を上回っている。

●書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する。

例) 意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する。

●語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。

例) 適切な語句を選択する。(彼はせきを切ったように話し始めた)

●目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことができる。

例) 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く。

○書いた文章を読み返して、文や段落の接続の関係が適切であるかや、どのような説明や具体例を加えたらよいかを検討するなどの学習活動の充実。

○取り上げようとする語句について他に適切な表現がないかを考えたり、複数の語句を比べてどれが最もふさわしい表現かを検討したりする学習活動の充実。

○心の動きや、身の回りの様々な物事などについて具体的な内容を盛り込んだ文を書き、伝えたいことを適切に表現するための語順や語の照応について検討するなどの学習活動の充実。